

# 特集 3 再生可能エネルギー事業の拡大に向けた取組み

世界的に成長市場である再生可能エネルギー事業について、安定供給や環境性等を考慮しながら、当社グループ一体となって国内外で積極的に展開しており、2030年までに国内外で新たに250万kWを開発し、総設備容量400万kWを目指しています。

また、九州電力グループ中期経営方針における財務目標では、再生可能エネルギー事業に2017～2021年度累計の成長投資850億円を目指しています。

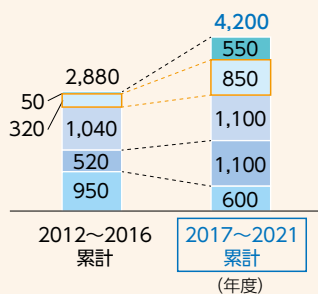
## 九州電力グループ中期経営方針(2015～2019年度)における成長分野の目標について

### 成長事業の目標

	2015年		2030年
再生可能エネルギー開発量	150万kW	+250万kW →	400万kW

### 成長投資に関する財務目標

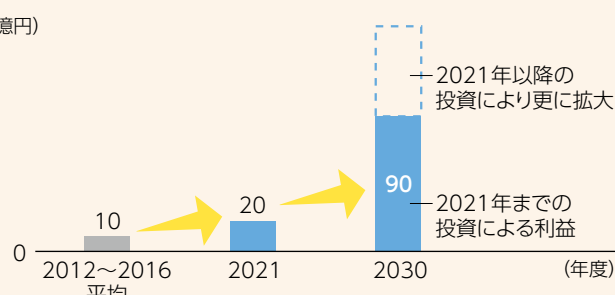
(億円)



- 海外
  - 再生可能エネルギー
  - 情報通信
  - 域内電源
  - その他\*
- \*その他は域外電源、燃料権益 など

### 再生可能エネルギー事業の経常利益の見通し

(億円)



## 九州電力グループの再生可能エネルギー導入実績(2017年6月末)

再生可能エネルギー  
開発量(2017年6月末)

約**185万kW**

太陽光 **9万kW**



大村メガソーラー第1～4発電所(長崎県)  
設備容量：17,480kW(パネル容量20,350kW)  
操業開始：2013年3月

風力 **12万kW**



長島風力発電所(鹿児島県)  
設備容量：50,400kW  
操業開始：2008年10月

水力 **128万kW**



上椎葉発電所(宮崎県)  
設備容量：93,200kW  
操業開始：1955年5月

地熱 **32万kW**



八丁原発電所(大分県)  
設備容量：110,000kW(55,000×2)  
操業開始：1977年6月

バイオマス **4万kW**



みやざきバイオマスリサイクル発電所(宮崎県)  
設備容量：11,350kW  
操業開始：2005年5月

## 当社グループの再生可能エネルギー事業を牽引する 「九電みらいエナジー(株)」について



地域社会からの幅広いニーズにワンストップで対応するため、再生可能エネルギー電源全般の開発を行う新会社「九電みらいエナジー(株)」を2014年7月に設立しました。

九電みらいエナジー(株)は、当社との連携のもと、地域社会に対し、責任ある事業者として様々な再生可能エネルギー電源について調査、計画から建設、運営管理まで一貫した技術・ノウハウを活用した発電事業を実施するとともに、関連サービスをお客さまに提供しています。

### ●九電みらいエナジー(株)の強み

#### 総合提案力

再生可能エネルギー発電全般を開発できる数少ない企業です。これらを組み合わせることができる新たな価値を創出するとともに、お客さまのニーズに応じた柔軟な提案をいたします。

#### 技術力

九州電力グループは長年、再生可能エネルギーに取り組んできました。そこで培われた豊富な知見、ノウハウを活かし、安定した発電を維持する高い工事品質と保守運営を実現します。

#### 運営力

再生可能エネルギーの開発から運営までトータルサービスを提供するため、未永い事業運営をサポートします。また、設備の譲り受けや引き継ぎなど多面的な事業も行います。

最近では、太陽光、風力はもとより、福岡県豊前市における国内最大級の本質バイオマス発電事業や山川発電所構内での地熱バイナリー発電事業、北九州市響灘における洋上風力発電の事業化検討などにも取り組んでいます。

### ●九電みらいエナジー(株)の発電事業設備の今後の導入予定

	所在地	操業開始	設備容量
<b>風力発電</b>			
唐津・鎮西ウィンドファーム (仮称)	佐賀県	2022年予定	約 28,000kW
◎串間風力発電所	宮崎県	2020年10月予定	64,800kW
<b>地熱発電</b>			
山川バイナリー発電所	鹿児島県	2018年2月予定	4,990kW
<b>バイオマス発電</b>			
◇豊前バイオマス発電所	福岡県	2020年1月予定	74,950kW
◇七ツ島バイオマス発電所	鹿児島県	2018年予定	49,000kW
<b>水力発電</b>			
鴨猪水力発電所	熊本県	2018年7月予定	1,990kW

◎子会社による発電事業

◇事業パートナーとの提携による発電事業